

令和5年3月1日
資料提供



和歌山県高野町

令和5年度高野町当初予算の概要について

高野町の令和5年度の当初予算は、国内の経済や社会活動が正常に戻ることを予想されることから、第4次高野町長期総合計画の基本構想をはじめ、各種計画に位置付けた施策を着実に推進し、「歴史と文化を守り交流が育む明るい未来 心のふるさと高野町」の実現を目指すため「**～全世代への投資そしてにぎわいを取り戻す～**」をキャッチフレーズとした予算として、職員一丸となり質の高い行政サービスを提供し、町民の皆さまに寄り添った事業を丁寧に取り組みました。

記

提供資料

令和5年度 当初予算（案）

令和5年度 一般会計当初予算（案）の概要

お問い合わせ

高野町役場 企画公室

企画財政係 門谷

TEL:0736-56-2932（直通）

令和5年度当初予算（案）

一般会計	55億円
	(対前年度比5.8%増)
特別会計（6会計）	15億3,912万円
	(対前年度比21.9%減)
企業会計（3会計）	10億231万5千円
	(対前年度比335.0%増)
全会計	80億6,228万5千円
	(対前年度比8.9%増)

令和5年度の当初予算は、国内の経済や社会活動が正常に戻る事が予想されることから、第4次高野町長期総合計画の基本構想をはじめ、各種計画に位置付けた施策を着実に推進し、「歴史と文化を守り交流が育む明るい未来 心のふるさと高野町」の実現を目指すため「～全世代への投資そしてにぎわいを取り戻す～」をキャッチフレーズとした予算として、職員一丸となり質の高い行政サービスを提供し、町民の皆さまに寄り添った事業を丁寧に盛り込みました。

一般会計では、継続事業である小・中学校等の複合型教育施設の完成に向けた学びの交流拠点整備事業や、道路・橋りょうなどの社会資本や公営住宅の老朽化対策などに要する経費、さらには、本町のまちづくりが次のステージへ踏み出すための諸課題に対応する経費など大きな財政需要が見込まれ、前年度と比べて3億円（率にして5.8%）増の55億円と過去最大規模となりました。

また、特別会計や企業会計では、下水道事業及び富貴簡易水道事業が地方公営企業法の適用を受ける会計方式に変更したことにより、3億5,701万9千円増の25億6,228万5千円となりました。その結果、令和5年度の全会計を合わせると6億5,701万9千円増の80億6,228万5千円（率にして8.9%）の増となりました。

◆一般会計の概要

歳入について

町税については、昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客が激減したことにより町民税が大幅に減少すると見込まれます。

また、学びの交流拠点整備事業などの大型事業の継続事業費が増加し、町の借金である起債の借入額が増加したほか、昨今のエネルギー価格高騰による光熱水費などの増加の影響もあり、町の貯金である基金の取り崩しも増加し、依然として財政事情は厳しく、財源不足に対応するため基金から繰入れをおこなった予算編成となっています。

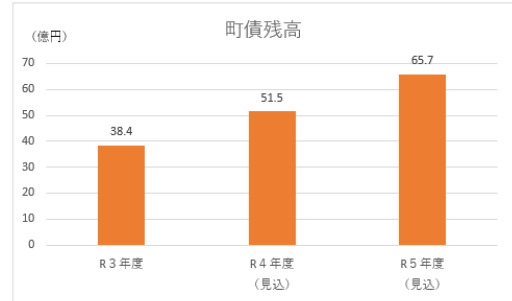
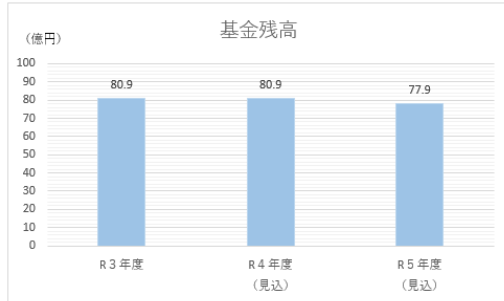
歳出について

予算のキャッチフレーズを「～全世代への投資そしてにぎわいを取り戻す～」とし、令和6年7月の開校を目指した継続事業である学びの交流拠点整備事業を引き続き全職員一丸となり取り組んでいきます。このほか、こども医療の助成対象を高校卒業までに拡大するなど、子育て世代の支援や、「健康長寿のまち宣言」に基づく高血圧ゼロのまちプロジェクトなどを推進し町民の健康増進を図ります。また、全戸に住宅用火災警報器を設置し、住民の安心・安全な暮らしを守るための取り組みを盛り込んだ予算編成となっています。

◆一般会計の基金及び町債残高

基金は、財政調整基金や特定事業のために積み立てたふるさと応援寄附基金などの特定目的基金を取り崩したことにより減少しています。

町債は、学びの交流拠点整備事業を中心として新規の借入が増加したことにより、残高は増加しています。



◆一般会計の内訳

歳入

◎自主財源 町が自主的に収入できるお金

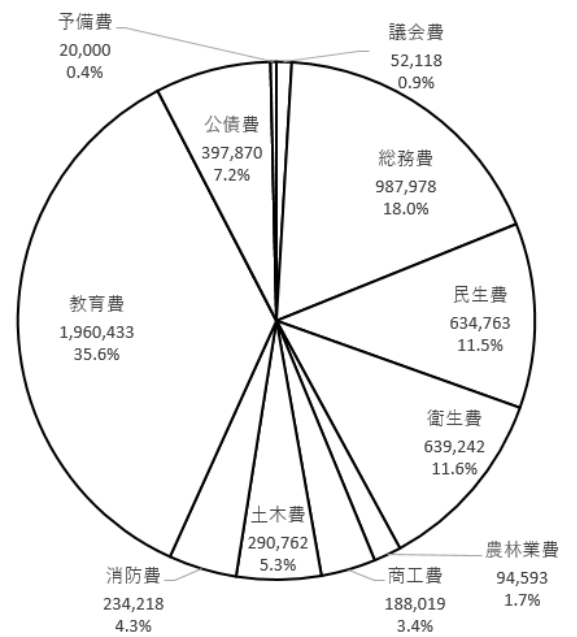
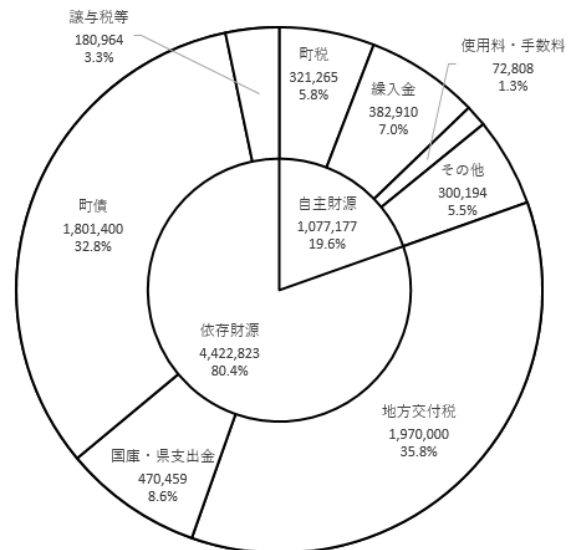
- 町税 町民税や固定資産税などの町の税金
- 繰入金 基金を取り崩したお金
- 使用料・手数料 施設の使用料などのお金
- その他 繰越金等

◎依存財源 町が自主的に収入できないお金

- 地方交付税 行政サービス水準確保のため国から交付されるお金
- 国・県支出金 特定の事業に対して国や県から交付されるお金
- 町債 国などから借りるお金
- その他 地方消費税交付金、地方譲与税など

歳出

- 議会費 町議会の運営に使うお金
- 総務費 徴税や防災、戸籍など行政運営全般に使うお金
- 民生費 子育て、高齢者、障害者など福祉事業に使うお金
- 衛生費 健康管理やごみ上下水道処理などに使うお金
- 農林業費 農林産業の振興に使うお金
- 商工費 商工業や観光の振興に使うお金
- 土木費 道路や住宅などの整備に使うお金
- 消防費 消防署運営や消防団運営に使うお金
- 教育費 学校教育や文化・スポーツ活動の振興に使うお金
- 公債費 借入金(町債)の返済や利息の支払い
- その他 災害復旧費、予備費など





予算のキャッチフレーズ

～全世代への投資そして
にぎわいを取り戻す～

予算編成方針

令和5年度予算は、国内の経済や社会活動が正常に戻る事が予想されることから、第4次高野町長期総合計画の基本構想に掲げる「歴史と文化を守り交流が育む明るい未来 心のふるさと高野町」を実現するため、「**産業の活力創出に取り組むまちづくり**」「**住んでよし、訪れてよしのまちづくり**」「**すべての世代が生き生き暮らせるまちづくり**」「**安全で安心な生活を実現するまちづくり**」の4つを重点に定め、職員一丸となり質の高い行政サービスを提供し、町民の皆さまに寄り添った事業を丁寧に盛り込みました。

一般会計 予算規模

2年連続過去最大を更新

一般会計の当初予算額は、

55億円となり、前年比**3億円**の増加で、2年連続過去最大を更新。

【令和5年度予算で取り組む主要事業】

住んでよし、訪れてよし

外国語教育充実事業

高野町独自の英語カリキュラムを導入し中学校卒業時には英語をバランスよく使うことが出来るよう取り組みます。

義務教育無償化事業

小中学校の教材費や遠足及び給食費を無償化し、子育て家庭を支援します。

こども医療費無償化事業

こどもの健康保持・増進を図るため、高校卒業までの医療費を無償化します。

出産・すくすく子育て応援事業

妊娠期から子育て期まで、専門的な相談や必要な支援と、町独自の上乘せ給付による経済的な支援を実施し、安心して子育てが出来る環境をつくれます。

アクセスバス運行事業

関空・京都及び紀南方面等の世界遺産地域との利便性向上に取り組みます。

産業の活力創出

地域おこし協力隊事業

周辺集落の農業や伝統産業を継承し、担い手不足や地域の活力づくりを応援します。

森林経営管理事業

町内の民有林を調査し、適切な森林管理を実施していきます。

生き生き暮らせる

外出支援事業

満80歳以上の高齢者等の外出を支援するため、タクシー等の公共交通利用料の一部を助成します。

高齢者生きがい対策事業

高齢者の生きがいづくり、社会参加の場づくりとして、シルバー人材センターや生きがいサロン等の活動を支援します。

動脈硬化健診事業

年1回の動脈硬化健診を推進し、健康長寿のまちを推進します。

がん検診事業

前立腺がん検診等の各種がん検診を推進します。

町民の健康増進事業

町民の自己の健康管理をサポートするため、フィットネスジムを充実すると共に、健康づくり各種教室の充実を図ります。

安全で安心な生活

住宅用火災警報器設置事業

全戸に配布した住宅用火災警報器を更新し、住民の安全・安心を守ります。

飲料水供給施設整備事業

筒香地区の水道を整備し、安心安全の飲料水を提供します。